

3月1日～8日は「女性の健康週間」

～子宮頸がんを予防しましょう～

子宮頸がんは、性接触のある女性の多くが生涯で一度は感染する「ヒトパピローマウイルス(HPV)」が原因で発症します。患者は20代から増え始め、毎年約1万人が子宮頸がんにかかり、約3000人が亡くなっています。ウイルスの感染を防ぐ予防接種とがん検診を受けましょう。



小学6年生～高校1年生の女子は、予防接種を無料で受けられます

ワクチンは、HPV中の一部の感染を防ぐことができます。ワクチンの種類は医師に相談し、1種類を接種しましょう。

対象者には個別に案内を送付しているのので、接種の検討をしてください。

ワクチンの種類	予防効果	接種回数	
シルガード9	80～90% 防ぐ	15歳になる前に受ける	2回
		15歳になってから受ける	3回
サーバリックス ガーダシル	50～70% 防ぐ	3回	

HPVワクチンは、国が最新の知見を踏まえ、改めて安全性を確認し、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認めています。詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。



予防接種を受けられなかった人へ、不足分の接種を無料で受けられる「キャッチアップ接種」を実施しています。

対象 平成9年4月2日～平成19年4月1日生の女性で、合計3回の接種が済んでいない人

接種期限 令和7年3月31日(3回接種するには、約半年かかります)



子宮頸がん検診を受けましょう！

20歳になったら、2年に1度がん検診を受けましょう。市では、指定医療機関や集団健診(自己負担金1,000円)で受けることができます。

【検診の流れ】

- ①問診 問診票に月経周期や生理痛の有無など、近日の体調を記載します。
- ②視診 膣鏡を膣内に挿入し、子宮頸部を観察します。
- ③内診 指を膣の中に入れ、もう一方の手でお腹を押して子宮の大きさなどを確認します。
- ④細胞診 ブラシやへらなどで子宮頸部を優しくこすり、細胞を採取します。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



あすてらす健康相談室の案内

健康相談(予約制)、血圧測定、検尿などを行っています。お気軽にご相談ください。

☎72-6682 毎週月～金曜日 9時～11時/13時～16時(あすてらす休館日を除く)